

新ごみ処理場整備・運営事業の主なご質問・ご意見について

柏崎市 市民生活部 環境課

令和6（2024）年1月に開催した近隣町内会説明会でお寄せいただいたご意見やご質問を元に、疑問に思われることをまとめました。別紙の説明資料と併せてご覧ください。

Q 新しいごみ処理場はクリーンセンターのどのあたりにできますか？

- クリーンセンター内のうち、し尿処理場やリサイクルセンターを解体し、その場所に建設します。現在のごみ処理場は、工事期間中もごみ処理を止めないよう稼働を続けた後、新しいごみ処理場が完成する令和11（2029）年度以降に解体する予定です。また、その跡地にはリサイクルセンターを設置する考えです。

Q し尿処理場を解体しても大丈夫なのですか？

- し尿処理は、下水道の普及によって減少しているので、下水道処理に統合することとしています。現在、下水処理場である自然環境浄化センターにし尿受入施設を建設しており、令和7（2025）年度から稼働する予定ですので、し尿処理場は解体しても大丈夫です。

Q リサイクルセンターは解体してしまうのですか？

- 新たなごみ処理場を建設するため、リサイクルセンターはやむを得ず解体しますが、大変多くの方から利用いただいている施設なので、別の場所に新たにリサイクルセンターを整備する準備を進めています。利用者アンケートでご要望の多かった車で利用しやすい施設とする考えですので、こちらをご利用いただきますようお願いします。

Q 環境面で周辺環境への影響はありませんか？

- 環境アセスを実施して周辺環境への影響がないことを確認したほか、ごみ処理場の運転に当たっては、公害防止基準より厳しい独自基準を設けて管理しますので、ご安心ください。

Q 災害時の補助避難所機能とはどのようなものですか？

- 新たなごみ処理場では、施設見学にも対応できる広い会議室があるほか、ごみ焼却の排熱を利用する発電を備えるため、停電時でも電気を使うことができます。周辺一帯が停電した場合などに一時的に会議室を利用いただくことを想定し、詳細を調整してまいります。

Q 地震にはどう対応されますか？

- 新しいごみ処理場は、十分な耐震性を備えるよう建設する予定です。また、相当の揺れを感じた場合には自動で運転を停止し、ごみ処理場の状況を確認してから再開することで、安全なごみ処理を行うよう考えています。ごみ処理場が運転できないほどの被害を受けた場合は、中越沖地震のときと同じように、他の市町村に協力をいただくこととしています。

Q ごみ処理のエネルギー回収とはどのようなものですか？

➢ ごみの焼却時には大きな熱も発生しますので、この熱を利用して発電を行います。発電した電気をごみ処理場で使用し、余った電気は市内で使えるように売電することで、エネルギーの地産地消に役立てるよう考えています。また、発電のほかに、クリーンセンター内の融雪にも利用することで、ごみ処理のエネルギーを無駄にしないように取り組みます。

Q ごみ処理量を160トンから80トンに減らしても大丈夫なのですか？

➢ 少ないごみを大きな施設で焼却すると余計な燃料が必要になるため、ごみ量に適した施設規模にすることが重要です。近年、ごみ処理量はリサイクルの推進などにより減少しており、将来的にも安定して処理できる適切な大きさとして80トンを設定しましたので大丈夫です。

Q 今後もごみの持ち込みはできますか？

➢ 新たなごみ処理場でも個人搬入を受け入れる予定です。また、工事期間中も受け入れる予定ですが、受付場所や搬入経路などは決まり次第お知らせしてまいります。

Q 工事期間中は工事車両が増えるなどの危険はありませんか？

➢ 工事期間中は、ごみ運搬車のほかに工事車両が行き来するので、近隣の皆様にご迷惑をお掛けする場合もあると想定しています。工事を行う事業者が決定しましたら、工事内容やスケジュール、工事の進み具合などをお知らせし、安全に十分配慮した工事に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。

Q DBO方式とはなんですか？

➢ D：設計、B：建設、O：運営を一体的に民間事業者と契約する方法です。ごみ焼却などの処理は専門性が高いため、知識とノウハウを持つ民間事業者に任せることとし、ノウハウを生かせる設計と建設を実現するため、これらを一体的に契約するものです。新たなごみ処理場の設計・建設と20年間の運営について、民間事業者から受ける事業提案を審査し、契約する考えとしています。

Q ごみ処理は民間事業者に任せて市は関わらないのですか？

➢ 専門的知識やノウハウが必要なごみ焼却を民間事業者にお任せしますが、ごみの収集から焼却、最終処分などのごみ処理全般は市が責任を持って行います。クリーンセンターを拠点に両者が連携し、適切で確実なごみ処理に努めてまいります。